



市民記者が行く!!

かめやま見てある記

古民家を訪ねて

加太中在家には、築106年の立派な日本家屋があり、世帯主である林信吾さんにお話を伺いました。

戦後の農地解放以前は、多くの農地山林を所有し、田畑の農作業は小作人が、山林は山師が切り出して植林を行い、家では養蚕が行われていたそうです。

以前、家の周りに小さな堀のあった広大な敷地内には、母屋、2つの離れ座敷、農具・味噌小屋と4つの蔵が建てられ、大きな木立の庭が配されています。

林さんの住まわれている母屋は明治24年に建てられ、屋根の葺き替え、居間台所の改修を経て現在に至っています。若かりし頃は、玄関脇に馬が飼われていて、門をくぐった所には人力車の車夫小屋や養蚕小



屋もあったとのこと。

家の内部、大黒柱は立派な檜^{けやき}の1尺(約30cm)角で、柱間の鴨居は1尺2寸の丁物が使われています。

離れ座敷は大正後期に建てられ、棟梁は当時の三重県知事公舎を手掛けた名工だったそうです。

建築部材はすべて桧の柱目で、特に床柱は四面柱目の極上品が使用されていました。庭を眺める廊下の硝子戸は、気泡や揺らぎが見られる大正時代からのガラスがはめ込まれ景色も柔らかく感じられます。

また、便所は当時としては非常に珍しい水洗が採用され、随所にハイカラさが感じられます。

しかし、このような伝統的
日本家屋も使い勝手やプライバシー、寒さ対策などの問題でリフォーム、建替えと次々姿を消そうとしています。さまざまな問題を解消しつつ、古き良き日本家屋を未来へ残して欲しいと思います。



市民記者 豊田康文さん



ハローキッズ



このコーナーでは、元気なかめやまっ子の写真を募集しています。掲載を希望する人は、広報秘書室(☎84-5021)までご連絡ください。



父 貴洋さん
母 有里さん (布気町)

安田 光希 くん
平成27年8月21日生まれ

元気に大きく育ってね!!



父 陽介さん
母 春香さん (田村町)

藤田 結喜 ちゃん
平成26年12月30日生まれ

よくしゃべる元気な娘になってきました



市の人口 1月1日現在 ●総人口 49,709人 (前月比-27) ●男 24,840人 (前月比-28) ●女 24,869人 (前月比+1) ●世帯数 20,817世帯 (前月比+3)